

令和7年版 治山林道必携 積算施工編 の訂正について（ご案内）

お客様におかれましては、当協会発行の書籍をご利用いただきありがとうございます。さて、令和7年8月に発行いたしました標記書籍につきましては、訂正を要する事項が判明しましたので、以下のとおり謹んでお知らせ致します。

また、当正誤表においては、令和7年12月11日に林野庁が公表した正誤表（12月18日の追加分も含まれます）も反映させております。皆様にはご不便をおかけしますことをお詫び申し上げます。

第1版 令和7年10月30日

第2版 令和7年11月5日

第3版 令和7年12月5日

第4版 令和7年12月12日

第5版 令和7年12月18日

【 上 巻 】

（訂正箇所）上巻 中表紙裏面のご案内の記述

（誤） 治山林道必携（積算・施工編）令和7年版は、国が公表した令和7年4月1日以降適用する通知及び令和7年5月31日までに公表された正誤表等をもとに編集しています。

（正） 治山林道必携（積算・施工編）令和7年版は、国が公表した令和7年4月1日以降適用する通知及び令和7年7月4日までに公表された正誤表等をもとに編集しています。

（訂正箇所）上巻 39 ページ 表6-14 機械区分「オールケーシング掘削機（スキッド式）」の企画欄

（誤） 本体工事でクローラクレーン〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型・基礎工事用・（2011年規制）〕100t吊を使用する場合

（正） 本体工事でクローラクレーン〔油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型・基礎工事用・（2014年規制）〕100t吊を使用する場合

（訂正箇所）上巻 125 ページ 1行目

（誤） ケ 施工に必要な実日数の設定が困難な場合は、表9－2又は表9－3を工期設定の参考とすることができる。

（正） ケ 施工に必要な実日数の設定が困難な場合は、表10－2又は表10－3を工期設定の参考とすることができる。

(訂正箇所) 上巻 233 ページ 6 ブルドーザ敷均し締固め作業の作業量の算定(築堤) 機械補助労務
の表

(誤)

<u>作 業</u>	工 種	普通作業員
敷均し	築 堤 <u>路 体</u>	0.2
	<u>路 床</u>	<u>0.3</u>

(正)

<u>作業区分</u>	工 種	普通作業員
敷均し	築 堤	0.2

(訂正箇所) 上巻 638 ページ 8-4-2 (4)ポンプ運転管理歩掛 2)運転歩掛の「ポンプ運転管理歩掛」表
中の名称欄

(誤) 普通作業員

(正) 山林砂防工(普通作業員)

(訂正箇所) 上巻 639 ページ 8-4-2 (6)単価表 2)ポンプ運転1日当たり単価表中の名称欄

(誤) 普通作業員

(正) 山林砂防工(普通作業員)

(訂正箇所) 上巻 668 ページ 8-9 (6)単価表

(誤) (6) 単価表

(正) (5) 単価表

(訂正箇所) 上巻 660 ページ 8 単価表 (1)仮囲い設置撤去(Pタイプ) 100 m²当たり単価表

(誤) 土木一般世話役の数量欄 1.1

普通作業員の数量欄 4.7

(正) 土木一般世話役の数量欄 1.2

普通作業員の数量欄 5.0

(訂正箇所) 上巻 828 ページ (3) 機械運転単価表

機械名・バックホウ(クローラ型)(掘削・積込・積込)の指定事項欄

(誤) 燃料消費量→58

(正) 燃料消費量→65

機械名・バックホウ（クローラ型）（片切掘削）の指定事項欄

(誤) 燃料消費量→58

(正) 燃料消費量→65

(訂正箇所) 上巻 870 ページ 表 4. 1 の脚注 3 2 行目

(誤) 鉄筋カッタ、溶接棒、電力に関する～

(正) 鉄筋カッタ及び電力に関する～

(訂正箇所) 上巻 886 ページ (5) ヘリコプター飛行経費 1) 空輸費 の計算式

(誤) 空輸費(円)＝空輸距離(km)÷空輸速度(km/hr)×1 時間当たり空輸料金

(正) 空輸費(円)＝空輸距離(km)÷空輸速度(km/h)×1 時間当たり空輸料金

(訂正箇所) 上巻 1036 ページ

(2) 敷均し（機械）100 m²当たり単価表中 名称・振動ローラ運転の摘要欄

(誤) 表 4.8

(正) 表 4.8

必要時応じ計上

(訂正箇所) 上巻 1037 ページ

(5) 機械運転単価表 の小型バックホウ（クローラ型）の指定事項欄

(誤) 運転時間＝5.7hr/日

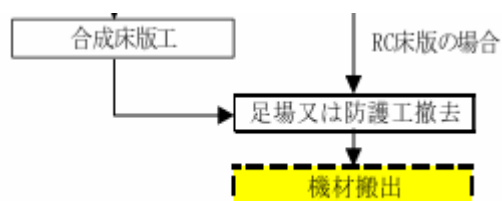
(正) 運転時間＝5.7h/日

(訂正箇所) 上巻 1117 ページ 3-4 鋼橋架設工 (2) 施工概要の図の下端

(誤)



(正)



(訂正箇所) 上巻 1152 ページ

(13) 架設用機械設備及び工具の供用日数 表「設備及び工具の供用日数」

(誤)

設備機械工具名	工 法 別	供用日数(移動式クレーンは運転日数)	
移 動 式 ク レ ーン	移動式クレーン	架設用	(A又はA+B)(×1.4)
		合成床版用	J(×1.4)
		作業用	(C+D+I)
	移動式クレーンによるステージング	架設用	(A又はA+B)(×1.4)
		合成床版用	J(×1.4)
		作業用	(C+D+E+I)
	ケーブルクレーン	〃	(F+I)
	ケーブルクレーンによるステージング	〃	(F+I)
	ケーブルエレクション	〃	(G+I)

(正)

設備機械工具名	工 法 別	供用日数(移動式クレーンは運転日数)	
移 動 式 ク レ ーン	移動式クレーン	架設用	(A又はA+B)(×1.4)
		合成床版用	J(×1.4)
		作業用	(C+D+I)
	移動式クレーンによるステージング	架設用	(A又はA+B)(×1.4)
		合成床版用	J(×1.4)
		作業用	(C+D+E+I)
	ケーブルクレーン	補 助	(F+I)
	ケーブルクレーンによるステージング	〃	(F+I)
	ケーブルエレクション	〃	(G+I)

(訂正箇所) 上巻 1152 ページ

(13) 架設用機械設備及び工具の供用日数 表「設備及び工具の供用日数」の備考欄

(誤)

1 (略)

2 移動式クレーン工法で地組のある場合は、架設用クレーンの運転日数をA+Bとする。

3 移動式クレーン工法で80t吊以上の架設用クレーンを使用する場合は、()内の係数を乗じる。

4・5 (略)

6 発動発電機の燃料、油脂類については架設等諸雑費に含まれるため、賃料のみ計上する。

7・8 (略)

9 高力ボルトを使用する場合は、締付けトルクを自動的に記録する必要がある場合は高力ボルト締付け自動記録計を計上するものとする。

10 ベント基礎に鋼板を用いる場合は、作業用クレーンの運転日数に基礎に係る運転日数も計上するものとする。

(正)

1 (略)

2 作業種別が、移動式クレーン、移動式クレーンによるステージングで地組のある場合は、架設用クレーンの運転日数を A + B とする。

3 作業種別が、移動式クレーン、移動式クレーンによるステージングで架設用クレーン又は合成床版用クレーンが 80t 吊以上の場合は、運転日数に () 内の係数を乗じる。

4・5 (略)

6 発動発電機の燃料、油脂類については架設等諸雑費に含まれる。

7・8 (略)

9 ベント基礎に鋼板を用いる場合は、作業用クレーンの運転日数に基礎に係る運転日数も計上するものとする。

(訂正箇所) 上巻 1217 ページ (2) 機械運転単価表 のタイヤローラの規格欄 下端

(誤) 運転質量 8~20 t

(正) 運転質量 13~14 t

(訂正箇所) 上巻 1241 ページ 表 3.5 の脚注 4

(誤) 4 炭素繊維シートの数量は、積上げにより算出するものとし、ロス率は全面貼り+0.07、格子貼り+0.05 とする。

(正) 4 炭素繊維シートの数量は、積上げにより算出するものとし、ロス率は格子貼り+0.05 とする。

(訂正箇所) 上巻 1246 ページ 7 単価表 (3) 不陸整正工 100 m² 当たり単価表 の脚注

(誤) () 書きは格子貼りの場合

(正) 削除

(訂正箇所) 上巻 1247 ページ 7 単価表 (4) 炭素繊維シート接着工 100 m² 当たり単価表 の脚注

(誤) () 書きは格子貼りの場合

(正) 削除

(訂正箇所) 上巻 1266 ページ 第4編 作業日当たり標準作業量 工種名・土工 設定内容⑨

(誤) ⑨ 人力による築立(土羽)整形

(正) ⑨ 人力による切土整形

(訂正箇所) 上巻 1267 ページ 第4編 作業日当たり標準作業量 工種名・土工 設定内容⑭

(誤) ⑭ 骨材再生工(自走式)

作業名	作業日当たり 標準作業量
設置	0.29 日/回
撤去	0.29 日/回

(正) ⑭ 骨材再生工(自走式) 自走式破碎機設置・撤去

作業名	作業日当たり 標準作業量
設置又は撤去	3.4 回/日
設置・撤去	1.7 回/日

(訂正箇所) 上巻 1281 ページ 第4編 作業日当たり標準作業量 工種名・共通工(1)(法面工等)

設定内容 ⑳コンクリート吹付工の吹付厚 20cm における作業日当たり標準作業量の単位

(誤) $\underline{m^3}$

(正) $\underline{m^2}$

(訂正箇所) 上巻 1286 ページ 第4編 作業日当たり標準作業量 工種名・共通工(2)(土留工・擁壁工等) 設定内容 ⑪「基礎・裏込・中詰(碎石・栗石)工(人力施工) 裏込(人力施工)」の「築立て・敷並べ(栗石・割栗石)」の作業量欄

(誤) $\underline{1.8 m^3/日}$

(正) $\underline{1.6 m^3/日}$

(訂正箇所) 上巻 1287 ページ 第4編 作業日当たり標準作業量 工種名・共通工(2)(土留工・擁壁工等) 設定内容 ⑫「基礎・裏込・中詰(碎石・栗石)工(人力施工) 中詰(人力施工)」の作業名欄

(誤) 基礎

(正) 中詰

(訂正箇所) 上巻 1288 ページ 第4編 作業日当たり標準作業量 工種名・共通工 (2) (土留工・擁壁工等) 設定内容 ㉓「落石防止網 (ロックネット) 設置工 簡易ケーブルクレーン(1.0t 吊)設置・撤去 (誤)

作業名	作業日当たり標準作業量	
簡易ケーブルクレーン (1.0 t 吊) 設置・撤去	とび工 1 人・山林砂防工 1 人編成の場合	とび工 10 人・山林砂防工 10 人編成の場合
	0.05 基/日	0.5m3/日

(正)

作業名	作業日当たり標準作業量
簡易ケーブルクレーン (1.0 t 吊) 設置・撤去	0.5 基/日

(訂正箇所) 上巻 1291 ページ 第4編 作業日当たり標準作業量 工種名・共通工 (2) (土留工・擁壁工等) 設定内容 ㉗「井桁ブロック土留工 現場打基礎コンクリート打設工 (誤)

作業名	作業日当たり標準作業量		
	井桁ブロック控長 (m)		
	0.7 以上 1.3 未満	1.3 以上 2.0 未満	2.0 以上 3.0 未満
現場打基礎コンクリート打設工 (人力打設)	31m2/日	3m2/日	4m2/日

(正)

作業名	作業日当たり標準作業量		
	井桁ブロック控長 (m)		
	0.7 以上 1.3 未満	1.3 以上 2.0 未満	2.0 以上 3.0 未満
現場打基礎コンクリート打設工 (人力打設)	3m3/日	3m3/日	4m3/日

(訂正箇所) 上巻 1291 ページ 第4編 作業日当たり標準作業量 工種名・共通工 (2) (土留工・擁壁工等) 設定内容 ㉘のタイトル

(誤) ㉘井桁ブロック土留工 現場打基礎コンクリート打設工

(正) ㉘井桁ブロック土留工 圧送管組立・撤去工

(訂正箇所) 上巻 1292 ページ 第4編 作業日当たり標準作業量 工種名・共通工 (2) (土留工・擁壁工等) 設定内容 ㉙かご工(B) 機械中詰 の「長さ」欄の単位

(誤) (cm)

(正) (m)

(訂正箇所) 上巻 1292 ページ 第4編 作業日当たり標準作業量 工種名・共通工 (2) (土留工・擁壁工等) 設定内容 ④かご工(B) 人力中詰 の「長さ」欄の単位

(誤) (cm)

(正) (m)

(訂正箇所) 上巻 1292 ページ 第4編 作業日当たり標準作業量 工種名・共通工 (2) (土留工・擁壁工等) 設定内容 ④かご工(B) 人力中詰 の網目 13 cm、高さ 60 cm、幅 120 cm、長さ 2mの作業日当たり標準作業量欄

(誤) 2.4 枚/日

(正) 2.1 枚/日

(訂正箇所) 上巻 1293 ページ 第4編 作業日当たり標準作業量 工種名・共通工 (2) (土留工・擁壁工等) 設定内容 ④ かご砕工

(修正内容) 「長さ(cm)」の項目名を「材料」へ修正

(訂正箇所) 上巻 1294 ページ 第4編 作業日当たり標準作業量 工種名・共通工 (2) (土留工・擁壁工等) 設定内容 「(53) 目地・止水板設置工 目地板設置」の「作業日当たり標準作業量」欄

(誤) 7.6 m²/日

(正) 9 m²/日

(訂正箇所) 上巻 1531 ページ及び1532 ページの表 3.11 暗渠排水管 積算条件区分一覧の作業区分には据付、撤去、据付・撤去の3区分がありますが、それぞれの波状管における次の呼び径欄に修正が必要です。

(誤) 100～1,000mm → (正) 700～1,000mm

(誤) 1,000～1,500mm → (正) 1,100～1,500mm

(訂正箇所) 上巻 1533 ページの表 3.12 暗渠排水管 代表機材規格一覧の項目 K1、R3、R4 の備考欄 (3 か所)

(誤) 管種別が波状管、呼び径が 700～1,500 の場合

(正) 管種別が波状管、呼び径が 700～1,500mm の場合

(訂正箇所) 上巻 1533 ページの表 3.12 暗渠排水管 代表機材規格一覧の項目 Z1 の代表機材規格欄

(誤) 暗渠排水管 波状管 呼び径 1,000mm 高密度ポリエチレン管 (ダブル構造)

(正) 暗渠排水管 波状管 呼び径 1,200mm 高密度ポリエチレン管 (ダブル構造)

(訂正箇所) 上巻 1590 ページ 表 3.4 機械・K1 の代表機労材規格欄

(誤) バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³)

(正) バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³)

(訂正箇所) 上巻 1645 ページの表 3.16 消波根固めブロック据付け 代表機労材規格一覧の項目 R1～R3

(誤)

R 1	土木一般世話役	
R 2	特殊作業員	
R 3	普通作業員	

(正)

R 1	普通作業員	
R 2	土木一般世話役	据付場所が「陸上」の場合
	潜水士	据付場所が「水中」の場合
R 3	特殊作業員	据付場所が「陸上」の場合
	潜水連絡員	据付場所が「水中」の場合

【 下 巻 】

(訂正箇所) 下巻 11 ページから 17 ページまでの「別表第2 建設機械損料算定表 目次」及び「さくいん」全ページ

該当ページが「令和6年版 治山林道必携 (積算・施工編)」から更新されずに掲載されてしまいました。正しい内容は正誤表別紙1をご覧ください。

(訂正箇所) 下巻 785 ページ及び786 ページの森林整備保全事業工事標準仕様書目次の第2編第2章工事材料以降の項目各ページについてページずれが確認されました。表示ページより4を減じた数字が正しいページとなります。

正しい内容は正誤表別紙2をご覧ください。

(訂正箇所) 下巻 1493 ページ 品質管理基準及び規格値表 1 セメント・コンクリート (覆工コンクリート・吹付けコンクリートを除く。)、製造 (プラント) のミキサの練混ぜ性能試験、「連続ミキサの場合：土木学会規準 JSCE-I 502-2013 の試験基準欄」

(誤) 工事開始前及び工事中 1 回／年以上

(正) 工事開始前及び工事中 1 回以上／12 か月

(訂正箇所) 下巻 1946 ページ (7)機械運転単価表

(誤)

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³)	7 単価表 (8)	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>40</u> 機械損料数量→1.59
〃	標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.13 m ³ (平積 0.1 m ³)	〃	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>24</u> 機械損料数量→1.33
〃	後方超小旋回型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³)	〃	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>40</u> 機械損料数量→1.59

(正)

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³)	7 単価表 (8)	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>37</u> 機械損料数量→1.59
〃	標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.13 m ³ (平積 0.1 m ³)	〃	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>23</u> 機械損料数量→1.33
〃	後方超小旋回型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³)	〃	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>37</u> 機械損料数量→1.59

以上

別表第 2 建設機械損料算定表

目次

01	ブルドーザ及びスクレーパ	18
02	掘削及び積込機	26
03	運搬機械	62
04	クレーンその他の荷役機械	70
05	基礎工事用機械	92
06	せん孔機械及びトンネル工事用機械	146
07	モータグレーダ及び路盤用機械	174
08	締固め機械	178
09	コンクリート機械	190
10	舗装機械	196
11	道路維持用機械	208
12	空気圧縮機及び送風機（原動機を含む。）	222
13	建設用ポンプ（原動機を含む。）	230
15	電気機器	240
16	ウインチ類	252
17	試験測定機器	258
18	鋼橋・P C 橋架設用仮設備機器	266
20	その他の機器	304
	船舶損料算定表	334

さ く い ん

<ア>

アースオーガ（単体）	96
アースドリル	106
R I 水分密度計	262
アジテータカー	192
アジテータトラック（トラックミキサ）	192
アスファルトカーバ	206
アスファルトクッカ	202
アスファルトケトル	200
アスファルトスプレヤ	206
アスファルトフィニッシャ	196
アスファルトプラント	196
アルカリ水中和装置	142
安全設備・救急設備	124
アンリーラ（油圧式）	282

<イ>

移動式スクリーン	320
インナバイブレータ	204
インパクトクラッシャ	308

<ウ>

ウインチ	254、270
------	---------

<エ>

エアタンパ	186
遠心ファン	226

<オ>

大型移動支保工（P C 橋用）	290
大型ブレーカ（ベースマシン含まず。）	150

大型ブレーカ（ベースマシン含む。）	150
送出し装置（鋼橋用）	282
送出しローラ	280
押航土運船	350
押出し手延桁（P C 橋用）	288
押 船	346
汚濁防止柵	332、356
汚泥吸排車	142

<カ>

ガードレール支柱打込機	216
ガードレール清掃車	210
ガス検知器	260
架 設 桁	266
片持架設用移動作業車（P C 橋用）	288
滑 車	298
カッタヘッド駆動モータ	164
ガット船	348
ガットバージ	348
仮 受 梁	292
刈草梱包機械	316
仮締めめボルト	294

<キ>

起重機船	338
艀装設備	116
ギヤードトロリ	270
キューリングマシン	206
キュービクル式高圧受変電設備	244
急結剤供給装置	162、310
業務用可搬型ヒータ（ジェットヒータ）	324

<ク>

杭打船	342
杭打ち用ウォータージェット	96
杭抜き機	144
杭破碎機	144
空気圧縮機	222
空気圧送船	338
区画線消去機	214
草刈機	314
草刈梱包機械	316
掘削・排土設備	118
グラウト注入機	302
グラウトポンプ	138
グラウトミキサ	138、302
グラウト流量・圧力測定装置	258
グラウト流量計（P C 橋用）	302
グラブ浚渫船	334、336
グラブホッパ	166
グラブリフト	166
クレーン付台船	340
クローラクレーン	70
クローラ式アースオーガ	102
クローラ式杭打機	100
クローラ式杭打機（ベースマシン）	98
クローラ式サンドパイル打機	136
クローラドリル	150
クローラローダ	54

<ケ>

計 量 器	258
ケーシングバイブ	356
ケーソン製作用台船	342
ケーブルクレーン	86、280
桁吊り門構（P C 橋用）	284
桁吊り金具（P C 橋用）	286

桁吊り門構移動装置（P C 橋用）	286
-------------------	-----

<コ>

構造物作業船	360
高圧気中開閉器（柱上用・手動操作型）	244
高圧洗浄機	324
高圧噴射攪拌式地盤改良機	134
降下装置（ジャッキングホイスト）	284
工 具	294
高視認性区画線施工機	214
高所作業車	90
工事用エレベータ	86
工事用水中モータポンプ	236
工事用信号機	324
工事用リフト	86
交 通 船	348
高分子凝集剤溶解槽	166
港湾工事用付属機器	358
小型渦巻ポンプ	230
小型多段遠心ポンプ（タービンポンプ）	232
小型バックホウ（クローラ型）	26
骨材計量器	304
コンクリートカッタ	218
コンクリート簡易仕上機	204
コンクリートスプレッダ	202
コンクリート穿孔機	310
コンクリート静的破壊装置	312
コンクリート床仕上ロボット	314
コンクリートパイプレータ	306
コンクリートバケット	306
コンクリートフィニッシャ	202
コンクリート吹付機	158、310
コンクリートブランチ	190
コンクリートブレーサ	192
コンクリート壁面カッタ	312

コンクリートポンプ	194
コンクリートポンプ車	192
コンクリートミキサ	304
コンクリートミキサー船	342
コンクリート横取機	204
コンクリートレベラ	204

<サ>

作業船用付属品	352
さく岩機	148
散水車	210
サンドコンパクション船	344

<シ>

C B R試験器（現場用）	258
シールドジャッキ	162
シールドマシン用機器	162
軸流ファン	226
自航起重機船	338
自己昇降式台船	344
自走式土質改良機	320
自走式木材破砕機	320
自走式破砕機	318
自走台車	278
自動測量機器	262
ジブクレーン	84
支保工建込エレクタ	160
シャトルカー	172
ジャーナルジャッキ	274
自由断面トンネル掘削機	154
種子吹付機	318
集草機	316
集中方式押出し工法用機器（P C橋用）	288
重量台車	274
ジョイントシーラ	212
ジョークラッシャ	308

真空ポンプ	238
深層混合処理機（スラリー式）	130
深層混合処理船	344
深礎用ロータリ吹付機	144
振動コンパクタ	186
振動目地切機	204
振動ローラ	180, 184

<ス>

水槽（一般工事中用）	322
水中切断機	144
スクレープドーザ	24
スタビライザ	174
スチールフォーム	204
スパット台船	352
スラリーポンプ	164, 238
ズリ鋼車	172
ズリ積機	156
ズリ積込・運搬機	158
スリップフォームペーパー	206

<セ>

整流器（直流溶接機）	292
全自動モルタルプラント	140
センターホールジャッキ	274
全回転型オールケーシング掘削機	112
潜水土船	348
石運船	348

<ソ>

ソイルミキシングプラント	176
騒音・振動計測機器	260
送気設備	122
送風機	226, 298
側壁測定装置	130
側溝清掃車	210

その他作業用付属品	364
その他試験測定機器	264
その他NATM用機器	160
その他バックホウ	52

<タ>

ターンテーブル	324
台 船	350
タイヤローラ	178
台車式P C桁横取り装置(P C橋用)	292
ダウンザホールハンマ	148
濁水処理装置	168
濁 度 計	262
多軸式特殊台車	278
多軸式特殊台車用ターンテーブル	278
玉掛けワイヤ	300
タワークレーン	80
タンパ及びランマ	186
ダンプトラック	62
ダンプトラック (トンネル工事用)	158

<チ>

チェーンブロック	256, 268
チェンソー	316
チェーンレバーホイスト[レバーブロック]	294
地下連続壁施工機	126
チップスプレッダ	202
地覆高欄作業車 (P C橋用)	292
中小型トラック (ダブルキャブ)	314
中層混合処理機 (トレンチャ式)	136
超音波探傷装置	262
超軟弱地盤用混合機	176
沈下・傾斜測定機器	260

<テ>

泥上掘削機	54
泥排水処理装置	140
泥水式シールド関連機器	164
ディストリビュータ	200
手延機 (鋼橋用)	284
手延先端油圧ジャッキ (P C橋用)	288
電気式集塵機	160
電気溶接機	292, 328
電線 (ケーブル)	300
電動ドリル	332
電動ハンマドリル	332
電動ホイスト	252, 266

<ト>

等厚式ソイルセメント地中連続壁施工機	130
土 運 船	348
トータルステーション	262
床版上面増厚機	218
床版撤去用ジャッキ設備	302
土砂搬出・積込装置	166
トラクタ	318
トラクタ用アタッチメント	318
トラック	64
トラック (トンネル工事用)	158
トラッククレーン	76
トラック式アースオーガ	332
トラックスケール	258
トラグライン及びクラムシェル	52
トラベラクレーン (全旋回型・鋼橋用)	284
ドリフトピン	294
ドリルジャンボ	152
トレーラ	64
トンネル清掃車	210

トンネル断面測定器 …………… 160

<ナ>

N A T M用機械 …………… 150

<ニ>

二組桁用桁吊り装置（P C橋用） …… 286

二組桁横取り装置（P C橋用） …… 288

ニューマチックケーソン施工機器 …… 116

乳剤スタビライザ …………… 216

<ネ>

粘土溶解槽 …………… 166

<ハ>

バージアンローダ船 …………… 336

排水管清掃車 …………… 210

排水性舗装機能回復機 …………… 218

パイプレータ用電源装置 …………… 308

パイプロハンマ（単体） …………… 92

パッカー車 …………… 324

バッテリー機関車 …………… 170

バックホウ …………… 36、154

バックホウ浚渫船 …………… 336

バックホウ用アタッチメント …… 60

発動発電機 …………… 246

パワーユニット …………… 164

ハンドミキサ …………… 302

<ヒ>

被けん引式スクレーパ …………… 24

引 船 …………… 346

<フ>

フィルタ式集塵機 …………… 160

フォークリフト …………… 88

フォームドスタビライザ …………… 216

深井戸用水中モータポンプ …………… 234

吹 付 機 …………… 162

吹付ロボット …………… 162

不整地運搬車 …………… 66

フラックス回収器 …………… 292

ブルドーザ …………… 18

ブレーススプレッタ …………… 206

プレファブリケイティッドバーチカル

ドレーン打機 …………… 136

フロート（組立式） …………… 326

粉 塵 計 …………… 262

粉体噴射攪拌機 …………… 134

分散方式押出し工法機器（P C橋用） 290

付属作業船 …………… 344

<ヘ>

併設加熱型リサイクルプラント …… 196

平板載荷試験装置 …………… 258

ベルトコンベヤ …………… 168

ベルトコンベヤ（ポータブル） …… 322

ヘリウム混合ガス設備 …………… 124

変圧器（トランス） …………… 240

ベ ン ト …………… 266

ベントナイトミキサ …………… 322

<ホ>

ホイールクレーン …………… 80

ホイールローダ …… 54、156

ボーリングポンプ（水ポンプ） …… 172

ボーリングマシン …………… 146

ポンプ浚渫船 …………… 334

<マ>

マイクロサーフェスマシン …… 218

マイクロバス …………… 314

マイクロポンプ船 …………… 336

巻 上 機 …………… 270

<モ>

モータウインチ	256
モータグレーダ	174
モルタルコンクリート吹付機	310
モルタルプラント	140
門型クレーン	266
モンケン（単体）	92

<ヤ>

薬剤散布機	318
薬液注入施工機器	140
やぐら装置	332

<ユ>

油圧式杭圧入引抜機	110
油圧式鋼管圧入引抜機	108
油圧式トンネル切削機 （ベースマシン含まず）	156
油圧ジャッキ	272、330
油圧ジャッキ送り台	274
油圧昇降ジャッキ本体（ユニットジャッキ）	278
油圧昇降ジャッキ・ポンプユニット	278
油圧転倒装置	172
油圧ポンプ	274、284
油圧ハンマ（単体）	92

<ヨ>

溶解槽（ニーダ）	212
溶接裏当材取付治具	294
溶接棒乾燥器	294、330
揚 錨 船	344
横取り装置	282、284、288

<ラ>

ライトバン	314
ラインマーカ	212
ラフテレーンクレーン	76
ラフテレーンクレーン装着式アースオーガ	108
ランマ	186

<リ>

リクレーマ船	336
リバースサーキュレーションドリル	114

<レ>

レール設備	300、326
-------	---------

<ロ>

ロードローラ	178
路面安全溝切削機（グルーピング機械）	216
路面清掃車	208
路面切削機	214
路面平坦性試験装置	262
路面横断形状測定装置	264
路面ヒータ	212
路面ヒータ（路上表層再生用）	216

<ワ>

ワイヤ式レバーホイスト〔チルホール〕	294
ワイヤーロープ	298

森林整備保全事業工事標準仕様書

目 次

第1編 共通編	787
第1章 総則	787
第2編 材料編	823
第1章 一般事項	823
第2章 工事材料	826
第3編 森林土木工事共通編	860
第1章 総則	860
第2章 土工	868
第3章 無筋・鉄筋コンクリート	883
第4章 一般施工	912
第4編 治山防潮工等	1072
第1章 築堤・護岸	1072
第2章 堤防・護岸	1074
第3章 突堤	1090
第4章 離岸堤、潜堤	1100
第5章 砂丘造成等	1104
第5編 溪間・山腹工等	1108
第1章 共通施工	1108
第2章 コンクリート工	1120
第3章 溪間工	1121
第4章 流路工	1134
第5章 山腹工	1139
第6章 地すべり防止工	1160
第7章 なだれ防止林造成	1170
第8章 森林整備	1174
第9章 保安林管理道整備	1180
第6編 林道	1181
第1章 林道	1181

第2章	舗装	1197
第3章	橋梁下部	1206
第4章	鋼橋上部	1220
第5章	コンクリート橋上部	1228
第6章	木造橋上部	1247
第7章	トンネル (NATM)	1249
第8章	道路維持	1263
第9章	雪寒	1286
第10章	道路修繕	1291
森林整備保全事業施工管理基準		1315
出来形管理基準及び規格値		1319
品質管理基準及び規格値		1487
森林整備保全事業工事写真管理基準		1561
工事写真撮影要領		1577